平成 21 年度～23 年度　習志野市事務事業評価表

1．事務事業基本情報

事業名	№87　習志野市体育協会活動費補助事業					担当課	生涯スポーツ課		予算費目名	款	項	目
										10	07	02
事業概要及び目的	本市の競技スポーツを推進している習志野市体育協会が主催している市民総合体育大会及び千葉県民体育大会への選手派遣等の活動について推進し、本市の生涯スポーツ振興を図る。	成果目標	成果指標	①　体育協会加盟団体数 ②　市民総合体育大会参加者数		年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度		平成 23 年度
						予算額（単位：円）	9,018,000	5,747,000	5,747,000		9,656,000
			計画値	①　35 団体 ②　10,000 名		決算額（単位：円）	9,018,000	5,747,000	5,697,000		
						従事職員数	2	2	3		3
事業の位置づけ	章　1　豊かな人間性と暖かさを育むまち			★左記施策（号）との結び付き 体育協会の活動を推進することにより、市民が生涯にわたって親しむ豊かなスポーツライフの実現や、スローガンである一市民、一スポーツの具現化に寄与する。		従事延べ日数	40	40	40		
	節　1　豊かな人間性を育む教育の推進					民間活力の導入	現状は？：■実現している　□将来可能性はある　□将来困難だが可能性はある　□余地なし				
	項　1　生涯学習、生涯スポーツ　芸術・文化活動の推進						相手は？：□市民　■市民活動団体　□企業・学校等				
	号　2　生涯スポーツ活動の推進						形態は？：補助金　共催　等				

2．進捗状況

年度	21 年度評価（20 年度実施した事項についての評価） 平成２１年７月２４日記入				22 年度評価（21 年度実施した事項についての評価） 平成２２年６月２日記入					23 年度評価（22 年度実施した事項についての評価） 平成２３年４月１９日記入				
実施計画上の予定	補助	実施計画の予定年度終了後	補助	★継続している事項、未着手事項がある理由	実施計画上の予定	補助	実施計画の予定年度終了後	補助	★継続している事項、未着手事項がある理由	実施計画上の予定	補助	実施計画の予定年度終了後	補助	★継続している事項、未着手事項がある理由
完了した事項	・市民総合体育大会の開催 ・県民体育大会への選手派遣 ・習志野市体育協会功労者表彰、優秀選手・団体表彰 ・各種スポーツ教室や大会等の開催				・市民総合体育大会の開催 開催種目の増加（34 種目→35 種目） ・習志野市体育協会功労者表彰、優秀選手・団体表彰 ・各種スポーツ教室や大会等の開催 ※県民体育大会は平成 22 年度に千葉県で国民体育大会開催のため開催しないこととなっていた					・市民総合体育大会の開催 ・習志野市体育協会功労者表彰、優秀選手・団体表彰 ・各種スポーツ教室や大会等の開催 ・国民体育大会地元開催に係る支援・協力 ・ ・				
継続している事項										・ ・ ・				
未着手事項										・ ・ ・				
改善案	昨年度から、協会の事務局をスポーツ振興協会が受け持つこととなり、体育協会、教育委員会、スポーツ振興協会それぞれ連携していく			成果指標 実績値　達成率 ①　34　97% ②　9,446　99%	体育協会、教育委員会、スポーツ振興協会の三者がさらに連携しながら、国民体育大会を契機に、市民の運動への参加の気運を高めていく方策を検討する				成果指標 実績値　達成率 ①　35　100% ②10,058　101%	体育協会、教育委員会、スポーツ振興協会の三者がさらに連携しながら、国民体育大会を機に高まった市民の運動への参加の気運を活かしていく。				成果指標 実績値　達成率 ①　35　100% ②9724　97%

3．今後の方向性

※課内協議を経て管理職が記入してください。

	21 年度評価 平成 21 年７月 30 日協議実施	22 年度評価 平成 22 年６月４日協議実施	23 年度評価 平成 23 年４月 20 日協議実施
今後の方向性 ＊根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか？なぜその「コストの方向性」をえらんだか？別紙「評価の視点」を参照してください。	成果の方向性：拡充／現状維持：○／縮小／休廃止 コストの方向性：休廃止／縮小／現状維持／拡充	成果の方向性：拡充／現状維持：○／縮小／休廃止 コストの方向性：休廃止／縮小／現状維持／拡充	成果の方向性：拡充／現状維持：○／縮小／休廃止 コストの方向性：休廃止／縮小／現状維持／拡充
	★上記を選択した根拠 市民総合体育大会の開催や県民体育大会の派遣等は、体育協会が中心となって行われており、今後もこれらを継続して行っていく。また来年度行われる千葉国体についても、協会としても盛り上げていき、全市的に活性化するようにする。	★上記を選択した根拠 「成果の方向性」は市民総合体育大会の開催や県民体育大会の派遣等は、体育協会が中心となって行われており、今後もこれらを継続して行っていく。 「コストの方向性」は国民体育大会開催のため、開催のなかった県民体育大会が平成 23 年度再開に伴うコスト拡充。それ以降は現状維持	★上記を選択した根拠 「成果の方向性」は市民総合体育大会の開催や県民体育大会の派遣等は、体育協会が中心となって行われており、今後もこれらを継続して行っていく。 「コストの方向性」は県民体育大会が平成 23 年度再開し、今後継続して開催予定である
方向性を実現するため実施すること（改革案）	今後も引き続き体育協会を支援していく。	引き続き体育協会を支援していく。	「する」スポーツのみならず、「みる」スポーツや「支える」スポーツの大切さも広めていく。
前年度改革案の実施状況	■実施　□一部実施　□検討中　□その他　★実施以外は具体的に記載してください。 情報化については協会独自のホームページを立ち上げた。今後さらに協会や事務局であるスポーツ振興協会と関わりについて検討を行う必要がある。	■実施　□一部実施　□検討中　□その他　★実施以外は具体的に記載してください。 体育協会内部の組織改編を目的とした検討委員会を実施した。	■実施　□一部実施　□検討中　□その他　★実施以外は具体的に記載してください。